

# コロナ撮影 自動化ツールの種類と特徴

---

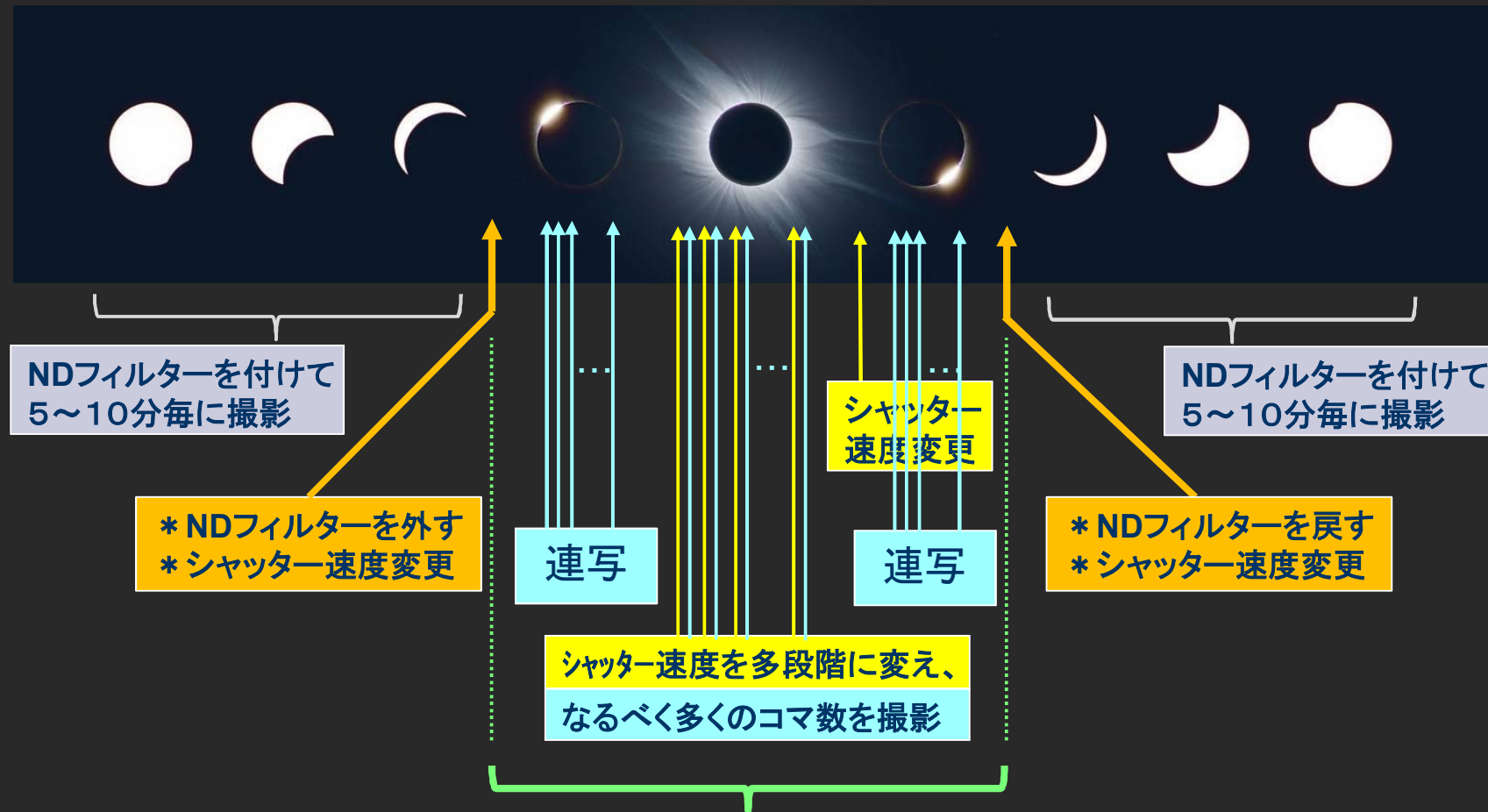
2013年 7月 6日

日食情報センター

塩田 和生

# 皆既日食撮影の自動化の必要性

皆既日食の撮影は、被写体の明るさの大きな変化に対応して、フィルター・シャッター速度などの設定を変えながら写す必要がある



この間の時間は数分、しかも眼でも眺めたい時間帯

# 自動化手段の種類

## 1) タイマー機能付きリモートレリーズ

- 5~10分毎の部分食撮影の自動化には有用



## 2) オートブラケット

- コロナの多段階露光の自動化には有用
- 1)と組み合わせれば、繰り返し撮影も可能
- △ ブラケット幅が大きいカメラは限られる

## 3) マイコン制御による繰り返しオートブラケット

- 自由度の高い多段階露光の繰り返しが可能
- △ 制御できるカメラの機種は限られる



コロナマスター2

## 4) パソコンソフトによる繰り返しオートブラケット

- 上記とほぼ同等(ノートPCが必要)
- 制御できるカメラの機種は多い



DSLR Remote Pro

## 5) パソコンソフトによる撮影の全自動化

- コロナの多段階露光の繰り返しだけでなく、
- ダイヤモンドリングや部分食の自動撮影も可能
- GPSをつなぐことで皆既の時刻もリアルタイムに計算



EclipseOrchestrator  
(略称:EO)

---

終わり